

ふるさとの里山里海を守る美化活動が地域の防犯意識も育てる

農林水産大臣賞 石川県 七尾市立天神山小学校

能登の中心部にある七尾市は、日本中世五大山城に数えられる七尾城を擁する城山がそびえている。そのふもとに位置し、七尾湾をのぞむ同校では、地域色をいかしたさまざまな環境美化活動を実践している。昼休みに一斉に行う「無言清掃」は、心を落ち着けて静かに掃除する毎日の取り組みで、整った環境づくりに励む姿勢が養われている。

児童は、地域の公民館が主催する「大谷川クリーン大作戦」や「城山クリーン大作戦」にも進んで参加。水質・生き物調査やサケの稚魚放流を実施する大谷川は、学校の近くを流れており、児童にとっても親しみ深い川だ。毎年、清掃参加を呼びかける手づくりの横断幕を川沿いに掲げるなど周知を図ることで、住民や児童などが300名以上集う一大行事になっている。当日は、地区ごとに分かれて川周辺に散乱している空き缶やペットボトルなどを分別しながら回収。

「城山クリーン大作戦」は、他県からも観光客が訪れる「七尾城まつり」のイベント前に実施される美化活動で、住民と連携して草刈りや資源ごみ回収を行う。昨年開催された七尾城まつりでは、児童がブース出展し、環境活動の取り組みや成果を広く紹介。

また、長年取り組んでいる「健全パトロール」活動は月2回、住民と児童が通学路をパトロールしながら資源ごみを回収する取り組みで、環境美化や防犯意識向上に一役買っている。

やたごう健全パトロール隊長の川淵正さんは、「ごみが減っただけではなく、地区内の犯罪件数も大幅に減少しました。この活動を通して私たちも子どもたちから元気ももらっています」と目を細める。

平成23年、能登の里山里海は世界農業遺産に認定された。児童は、スーパーに許可を得て、買い物カゴに環境ポスターを取り付けたり、手づくりのごみ箱を公民館や公園などに設置したりして、いっそう地域へ広く環境保全を訴える。こうした体験を重ねる中で、城山の森や大谷川、七尾湾がいつまでも豊かな里山里海であり続けることを願う愛郷心がすくすくと育っている。



### 石川県七尾市立天神山（てんじんやま）小学校

学校長：向 俊子

生徒数：346名（2015年11月末現在）

住所：石川県七尾市本府中町天神山部1

電話：0767-52-5201

アクセス：「七尾」駅よりタクシーで約10分

写真上：大谷川クリーン大作戦の前に掲示される児童手づくり横断幕、写真上から2番目：川沿いにポイ捨てされた資源ごみを回収、写真上から3番目：住民とパトロールしながらごみを回収、写真下：買い物カゴに環境ポスターを貼る様子

